八潮中央総合病院 院外広報誌
YBJGA 005-41

ふれあい

2024 6月

発行:医療法人 社団協友会 八潮中央総合病院　編集:広報委員会　〒340-0814 埼玉県八潮市南川崎845番地　TEL.0570-07-1131／FAX.048-997-2135

\ 八潮市内で唯一 / 手術支援ロボット ダビンチによる 大腸がん手術が受けられます!

当院では昨年から手術支援ロボット「ダビンチ」を導入し、泌尿器科手術を実施しておりましたが、このほど、大腸がん手術にも導入しました。

今月は手術支援ロボット「ダビンチ」による外科手術の内容について特集しました。

「ダビンチ」＝“人間の手”以上の手術

●ロボットというとどんなイメージでしょう?



鉄腕アトムのような自分で動くロボットを思い浮かべる人もいるかも知れません。しかし、手術用のロボット、“ダビンチシステム”はあくまで人間が操作して手術をするロボットです。そして、その人間の行う手術の弱みを補ってくれる道具です。

ひと昔前であれば名人しか出来ないようなクオリティーの手術、それどころかそれを遥かに凌駕する手術を、誰にでも出来るようにしてくれる、そんな道具が手術ロボット、ダビンチです。直腸手術は体の奥深い、そして非常に狭い場所での手術です。

しかも、そこには傷つけてはいけない重要な血管や神経が集まっています。そんな空間で必要な癌細胞を取り残しなく切除する手術は、これまでとても高度な技術を必要としていました。ロボット手術により、“傷つけない”“取り残さない”という一見相反する二つの事を同時に実現可能となりました。

これにより合併症や後遺症を減らすと同時に再発も減らす事が期待されています。手術ロボットはこれまでのロボットがそうであったように、今後急速に普及していくと思います。しかし、現在は外科ロボット手術をするためのライセンスは厳しく規制されています。

当院ではそのライセンスを担当の外科医が取得し手術を行っています。安心して、“人間の手”以上の手術を受けていただけると思います。



外科部長 黒崎 哲也 医師
（くろさき てつや）

【専門】消化器外科、腹腔鏡手術
【資格】日本外科学会専門医・指導医
日本内視鏡外科学会技術認定医
日本消化器外科学会専門医
消化器がん外科治療認定医
日本大腸肛門病学会専門医・指導医
東京ヘルニアアカデミー世話人
日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医
da Vinci Surgical System Console Surgeon
Robot-Doc pilot 国内B級

外来日
火曜日 午前
受付時間　8:00～12:00
診療時間　9:00～13:00

八潮中央総合病院
インスタグラム
@yashio.cgh

ダビンチによる手術



世界の先進国の潮流に乗るように、日本でも「キズが小さく」「低侵襲」な手術が当たり前のように求められる時代になってきました。

1987年世界で初めて腹腔鏡による胆のう摘出術が行われ、遅れること4年、1991年には日本でも初めて腹腔鏡下胆のう摘出術が行われました。それからまだ30年程度で腹腔鏡下で出来ない手術はない、というほどまでに「低侵襲」で「キズの小さい」手術は普及しました。また、腹腔鏡手術はデータの上でも開腹手術よりも優れている面が数多く証明されており、当院でも積極的に取り入れるようにしています。

一方で、そのレベルは病院間によってバラバラで、同じ手術でも手術の内容から術後経過まで大きな開きがあります。その原因の一つは腹腔鏡手術は「2次元での手術」「関節が使えない道具での直線的な動き」「支点、力点、作用点のある機器の扱い」など開腹手術とは違った腹腔鏡手術の技術的な難しさにあります。

それを解消するのがロボット手術です。開腹手術では見えにくい場所でも目の前で拡大視した術野を見ながら、細かい作業ができる、という腹腔鏡手術の利点をそのままに（むしろそれ以上に）、先にあげたような腹腔鏡手術の欠点を十分に補い、さらには人間の手ではどうしても防げない「手振れ」さえもなくすことが出来ます。

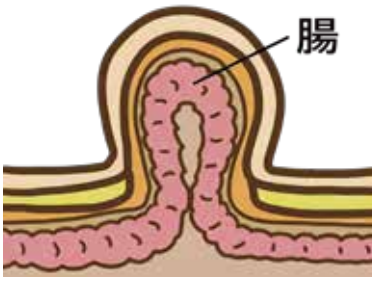
ある意味、難しい手術を誰でも簡単にできるようにする道具、と言えるかもしれません。

しかし、人体に使用する巨大な「道具」である故、使い方を間違えると大変な事故にもつながるため、現在はこの使用は厳しく規制されています。つまり資格を持ってトレーニングを受けた（日本消化器外科学会消化器外科専門医、Console Surgeon Lisence）外科医が、別の資格（内視鏡外科技術認定医）を持った医師やトレーニングを受けたスタッフのいる施設で初めて単独でロボット手術を行うことが許されています。

当院ではこれらの条件を満たしてロボット手術を導入しています。

現在は大腸がん（結腸がん、直腸がん）にのみ導入していますので、該当する疾患でロボット手術を検討する方は一度ご相談ください。

1泊2日のソケイヘルニア手術



▲ソケイヘルニアの内部イメージ

ソケイヘルニアという病気は一度は耳にしたことがある方も多いと思います。名前のとおり「ソケイ部」にできる「ヘルニア」で、脚の付け根が腫れる病気です。

別名「脱腸」と呼ばれますが、腸の病気ではなくておなかの筋肉の病気です。おなかの筋肉に穴が開いて、そこからお腹の中の臓器（腸、脂肪など）が飛び出してくる病気です。

特徴は腫れたり（出っ張ったり）凹んだりすることで、痛みなどもない事が多いため、気づかなかったり放置されていることも多いようです。手術以外に治療法はないのですが、全国では25～30万人ほどの患者さんがいて、年間12万～13万人が手術を受けているとても一般的な病気です。

ソケイヘルニアの手術方法は大きく分けて2つになります。脚の付け根（ソケイ部）を切開する方法と腹腔鏡手術の2種類です。腹腔鏡手術の方が直後の痛みが少なく、キズが小さいことが特徴で、日帰りも含めた短期治療に適しています。それ以外のこと（1週間後の痛み、再発率など）には大きな違いないようです。

手術方法はたった2種類なのですが、治療期間、入院期間は病院によってかなりばらつきがあります。

日帰り手術から1週間程度入院が必要な病院まで様々ですが、これは手術の違いというより、病院側の事情、患者さん側の事情というのが大きいようです。

当院では腹腔鏡手術をメインに、状況に応じてソケイ部切開法も利用しています。また、入院期間も1泊2日を基本に患者さんの事情も考慮して入院期間を決めるようにしています。

黒崎医師は都内の病院でソケイヘルニア手術の部門責任者を歴任し、現在でも都内のクリニックで腹腔鏡手術での日帰りソケイヘルニア手術を年間180件ほど行っています。また、東京ヘルニアアカデミー（日本ヘルニア学会 関連地域研究会）の世話人も務めています。手術方法、治療期間も含めてぜひ一度ご相談ください。

TOPICS 出前講座

3/11 中馬場町会で薬剤市民講座

3月11日(月)午前、中馬場公民館において、「薬剤市民講座」の出前講座を実施しました。

講師は当院薬剤部の大久(だいひさ)薬剤師がつとめさせていただきました。

講座は、「薬の疑問にお答えします」というテーマで、Q&A方式でお話させていただいた後、会場からたくさんのご質問をいただき、それぞれ丁寧にお答えしました。

40人の会員の皆さんは最後まで熱心にご参加いただきました。





3/27 ケアセンターで生活習慣病教室

3月27日(水)午後、八潮ケアセンターそよ風において、「生活習慣病教室」を実施しました。これは同センターからの依頼を受け実施したもので、講師は栄養科・管理栄養士の吉田、及びリハビリテーション科理学療法士の清水と岡田の3人がつとめさせていただきました。

当日集まったデイサービスに通う35人の皆さんは、最後まで熱心にご参加いただきました。





4/30 八潮ロータリークラブでストレッチ筋トレ講座

4月30日(火)午後、埼玉縣信用金庫八潮支店会議室において、八潮ロータリークラブ例会での出前講座を実施しました。

この日は、「健康ストレッチ筋トレ体験講座」で、講師は当院リハビリテーション科・作業療法士の藤橋主任及び佐藤がつとめさせていただきました。

前半はストレッチのお話と実技、後半は筋トレのお話と実技を行いました。会場は和やかな雰囲気の中、30人の会員の皆さんは最後まで熱心にご参加いただきました。





3/29 あすなろ保育室で手洗い教室

3月29日(金)午前、当院が運営するあすなろ保育室(南川崎)において、幼児24人を対象に「手洗い教室」を開催しました。

講師は、当院感染対策委員会リンクスタッフ部会のメンバーで、放射線科の保坂主任と訪問看護ステーションの川崎の2名がつとめさせていただきました。

幼児たちは熱心にお話を聞き、正しい方法で手洗いを実践しました。





災害対策の動き

災害に備えて、当院では災害対策委員会を中心に、院内のすべての部署を挙げて、八潮市や草加八潮消防局など関係機関と連携を図りながら災害対策に取り組んでいます。
6月22日(土)には、大地震を想定した「大規模災害訓練」を実施いたします。





夜間避難訓練 3/5





机上訓練 3/23、4/13



八潮市との災害対策打ち合わせ(市役所) 3/26

八潮市 乳がん検診・子宮がん検診

完全予約制

来院は2回

予約電話番号（定員になり次第終了です） 048-998-8001

〈平日〉8:30 ～ 12:00、13:00～17:00　〈土曜日〉8:30～12:00 / 日曜日・祝除く

お問い合わせ　八潮市立保健センター 048-995-3381

結果説明の来院は必須です

※ すでに乳腺外科や婦人科へ通院中の方は主治医の指示に従ってください。
※ 受診に関する不明点につきましては八潮市立保健センターにご確認ください。

予約時の注意事項
※ 必ずお読みください

1. 上記以外の時間帯は、ご予約ができませんので、あらかじめご了承ください。
2. 予約の際は、検査日と結果説明日時を第３希望まで検討し、ご予約をお願いいたします。
3. 保健センターより届くご案内書類がお手元にない場合は、ご予約ができません。

※ご案内書類がお手元にない場合は、八潮市立保健センターへお問合せください。

乳がん検診

受付
完全予約制です。（2回とも完全予約制）
※必ず、撮影・結果説明の２度来院していただきます。

実施日
月～土曜日
※時間につきましては、上記へお問合せください。

当日の持ち物

・健康保険証　・負担金（ある方のみ）
・保健センターより届くご案内書類
※保健センターより届く書類の持参がない場合は、ご受診できません。

注意事項

当院では、妊娠中、豊胸手術をされている方、授乳中、断乳後半年以内の方の撮影はできません。

予約～結果までの流れ

❶ 八潮市立保健センターより受診のご案内書類が届く。
❷ 電話にて予約をする。
❸ 当日、撮影来院をする。※予約時間の15分前に来院する。
❹ ２週間後に結果説明の来院をする。

子宮頸がん検診

受付
完全予約制です。（2回とも完全予約制）
※希望日の1ヵ月前の予約となります。
※必ず、検査と結果説明の２度来院していただきます。

実施日
月～土曜日
※時間につきましては、上記へお問合せください。

当日の持ち物

・健康保険証　・負担金（ある方のみ）
・保健センターより届くご案内書類
※保健センターより届く書類の持参がない場合は、受診できません。

注意事項

着脱しやすい服装でお願いいたします。

予約～結果までの流れ

❶ 八潮市立保健センターより受診のご案内書類が届く。
❷ 電話にて予約をする。
❸ 当日、検査来院をする。※予約時間の20分前に来院する。
❹ ２週間後に結果説明の来院をする。

リハビリテーション科

当院リハビリテーション科では、ストレッチや筋力トレーニングの方法をYouTube動画やインスタグラムでわかりやすく解説しています。ぜひ一度ご覧いただき、ストレッチ・筋トレ等をお試しください。

やしおリハちゃんねる



youtube.com/channel/UCYvvSIAu2wmi_qZgHI9f9ng?app=desktop

Instagram（インスタグラム）



https://www.instagram.com/yashio_rehachannel/

上尾中央医科グループ　医療法人 社団協友会
八潮中央総合病院
〒340-0814 埼玉県八潮市南川崎845番地
TEL 0570-07-1131 FAX 048-997-2135
https://yashio-cgh.jp　病院ホームページ▶

日本医療機能評価機構認定